



小豆 No.2

のう じ でん そう
農 時 電 送

今後の防除について

茎葉が過繁茂になると、灰色かび病・菌核病などが発生・拡大しやすくなります。開花状況や病害の発生状況を確認し、防除に努めましょう！
エリモショウズ開花始：本年 7/31（平年 7/29）、品種により前後します。

***開花始・・・開花した株がほ場全体の5%に達した時期**

☆炭そ病：6月下旬～7月に多湿条件が続くと多発
葉の裏面に赤くさびたような病斑。乾燥すると破れやすい。

☆灰色かび病：開花期以降の低温・多湿で多発
咲き終わった花に灰色のカビが付き、莢などにまん延。

☆菌核病：開花期以降の低温・多湿で多発
葉や茎に白い綿状のカビを生じ、黒色の菌核を形成。

☆主な病害の防除体系例

防除時期	対象病虫害	薬 剤 名	倍率	使用時期	回数
開花始の 7～10日後	菌核病	スミレックス水和剤	1,000 ～ 2,000	収穫21日前	2
	灰色かび病		1,000		
1回目の10日後	菌核病 灰色かび病 炭そ病	ファンタジスタ 顆粒水和剤	2,000	収穫7日前	3
2回目の10日後	菌核病 灰色かび病 炭そ病	プライア水和剤	1,000	収穫14日前	4

☆害虫の主な防除薬剤

＜食葉性チョウ目幼虫・アズキノメイガ（フキノメイガ）など＞

対象病害虫	系統	薬剤名	倍率	浸透性	残効性	効果の特徴	使用時期
ツメクサガ・ハダニ類 ・アズキノメイガ	有機リン	トクチオン乳剤	1,000	△	中	接触食毒	収穫 30日前
アズキノメイガ		サイアノックス乳剤	1,000	△	短	卵	収穫 21日前

*バイジット乳剤については、製造及びメーカーの販売は終了しています。

＜ハダニ：高温乾燥時に多発＞

対象病害虫	薬剤名	倍率	水量	使用時期	回数
ハダニ類	ピラニカEW	1,000 ～2,000	150～300 L	収穫7日前	<u>1</u>
	トクチオン乳剤	1,000	100～300 L	収穫30日前	2

*ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布ムラがないように散布する。

○●農薬の適正使用・飛散防止に努めましょう●○